

【9月】お米配布家庭数：2,017家庭 お米配布人数：3,832名

- ①お天気があまり良くない予報でしたので、以前隣市のフードバンク様よりご寄付いただきました【子供用防災リュック】におまとめしてお渡しとなりました。
今回ご支援いただきました《お米》と《お惣菜》、刈谷市のハブステーションよりのご支援品の《冷凍食品》この3つとプラスして、一般の方から【フードドライブ】していただいたお品物をランダムに入れておまとめしました。
食育の用紙は、秋を感じよう！をお入れしました。以前と同様、お米は大変喜んでもらえて、「助かります」とほとんどの方が言われてました。正直、この辺りで安くても、5キロあたり3,800円はします。「安いお米なんて無いよね？」と言う方がほとんどで、「子供に我慢させるのも嫌だし、高くても買うしか無い」と、厳しさを訴える方もおみえでした。お米のご支援が続くと皆さん助かるんだろうな…と思っています。
お惣菜、冷凍食品も「今晩はコレで晩ご飯できます！もう仕事でクタクタ…」と19時近くにお渡しした方もいます。皆さん とても嬉しそうでしたので、今回もお渡しできて良かったなぁと安堵しています。
ご支援いただきありがとうございました。ご利用者さんの笑顔につながりました。
- ②毎月第三土曜日にフードパントリーを実施。 子供に限定せず地域の方に食材を配布。
最近備品のスリッパやスポンジなどの盗難が発生したため、セキュリティ対策を検討しています。
- ③みんなと一緒にご飯をして、子どもたちがにぎやかに食卓を囲む姿を見て、食事の持つ力を改めて感じました。
普段はなかなかゆっくりご飯を食べられない子も、笑顔でおかわりしている姿が印象的でした。会食のあと、お母さん方から「家では野菜をあまり食べないのに、ここでは食べてくれて嬉しい」「一緒に食べられる時間があるがたい」といった声をいただきました。
- ④初めて参加のかたに、子どもが案内をしたり教えたりする姿が見られました。大人は手伝いたいところをグッと堪えて見守ることで、子どもだけで達成することもあり、良い経験になっていると感じました。
- ⑤子ども食堂を立ち上げてから一年が経ちました。
学区に周知されてきた様にも感じます。毎月楽しみに来て「美味しかった！」と声をかけてもらうと涙が出そうになります。予約人数が定員に達せず悩んだ日々もありましたが、必要としてくれる人が居ると確信できた瞬間は本当に嬉しいものです。
お米のご支援があつてのボランティア活動。本当に毎月ありがとうございます。今月はすき焼き風豚丼でした。
- ⑥夏休みから参加している家族がいます。子どもが全員不登校です。母親（シングルマザー）は自立させたくて学校に行かそうとしますが、長期間不登校だったためなのか、人馴れしていない為学校の様に多数人がいると疲れると子どもが言っているそうです。そこで、子ども食堂へ来て対人関係を学ばせたいという事で参加しています。
また、小学校5年生から来ていて、現在中学2年生の男子が今まで一度も言った事がなかったのですが、誕生日を祝って欲しいと言っているのを人伝に聞き、サプライズで9月20日に手作り

の誕生日ケーキでお祝いしました。彼はヤングケアラーでした（行政が入り現在では解消）。また友人関係から不登校気味でもあり、微力ながらなにかの心の支えになればと思っています。

- ⑦当こども食堂は開始から１０年経ち、はじめの頃は乳飲み子だった子が、今は小学５年生になって毎月来てくれます。心から 無事育ってくれて有難うと言う気持ちです。
親が様々な問題を抱えたとしても、こどもには関係ないのですから、これからもこども達が立派に育ってくれることを見守れるこども食堂でありたいと思っています。
- ⑧今回は今までで一番多い７６人の参加者でした。部屋が狭く、時間差で来てもらうようにしましたが、それでも後半にドドーツと来る人が多く、かなりギュウギュウ詰めの中で食べて頂きました。
いつもよりもかなり賑やかな（うるさい）子ども食堂でしたが、メニューが子どもが大好きなヤンニョムチキン（辛さを抜いた韓国料理）だった為か、残飯無く、みんな「美味しい、美味しい」と言って食べてくれました。あれほど沢山の量の食事を一生懸命作って下さるスタッフの方々にも感謝です。
米は２９世帯の家族に配ることが出来ました。今回初めて参加された母子家庭のお母さんが、お米を貰って涙ぐんでらっしゃり、こちらまで胸が熱くなりました。
- ⑨毎月のご支援ありがとうございます。
今回は提供数を１．３倍ほど増やしたので、子育て家庭２９世帯、その内５世帯がひとり親家庭のご利用がありました。
今回１キロのお米を２０袋頂き、プラスしてお米をお渡しすることができました！世帯数が多かったため、ひとり親家庭の方にはプラスでグラノーラをお渡ししました。お米を１キロの小分けにしてくださるので、とても助かります。ありがとうございます。
今回は救命講座、小さなお子さんには紙芝居、鰻屋さんから鰻のご提供があり、生産者さんに鰻のお話を頂きました！
お彼岸でもありましたので、食育ということで、おはぎもご提供いたしました。
今回、初めてシングルファザーさんが中学生のお子さんをご来場してくださいました。支援する団体さんからのご紹介で、生活に困窮気味ということでした。また来月もご利用できるよう私達もできる限り活動を通じて応援したいです。
今月も本当にありがとうございました。
- ⑩参加者のほとんどは、きちんとした清潔感ある服装で、貧困は外から見えにくいです。
あるご家庭は協力金である大人３００円、子ども１００円が用意できない事を伝えてもらって以来、気にかけるようにしています。必要な時には支援食材を渡しています。
本人たちからは食材が足りていない事を伝えづらいものがありますので、こちらから声かけをしています。
- ⑪困窮家庭が増えているので、支援が増えることを強く望んでいます。
食品寄付法(特に大手スーパーは食べられる食品を廃棄せずに子ども食堂やフードバンクなどの中間支援団体に寄付する事)が義務化される事を強く望んでいます。
- ⑫今回のメニューは、支援品でいただいた赤魚の煮付け、しらすと野菜のかき揚げにサラダ、ご飯、味噌汁と和食になりました。いつもご支援いただき心より感謝申し上げます。
今回初めての参加で、幼児２名を連れた妊婦さんの親子が２組いらっしゃいました。食事の後は、大学生ボランティアのお兄さんに遊んでもらってとても楽しそうでした。
一人暮らしの高齢の男性おふたりが、３人のこどもと向かい合わせで座り、たくさんおしゃべりをしながら食事を楽しんでいました。
子どもの数は少ないですが、地域の食堂としてなくてはならない居場所になっていくように、これからも頑張っています。

⑬物価高の影響がどんどん大きくなっています。

今年の3月頃から参加者が増えています。聞き取りをすると、物価高で厳しく、こども食堂の存在を知って来るようになったと殆どの方が言います。

⑭この度は食材のご支援ありがとうございました。

この日のメニューはカレーライスとサラダです。いただいたポテトサラダも提供しました。

気候が良くなり外に出やすくなった為か、来場者が久しぶりに150名を超えました。みんな大好きなカレーという事もあり、たくさんおかわりをして食べていました。食欲の秋ですね！

2学期に入り、学校生活も日常を取り戻しつつある様です。夏休みには来場しなかった母子も再び顔を出してくれるようになり、一安心しています。

今後ともあたたかいご支援をよろしくお願いします。

⑮今月は地域の秋祭りに合わせて開催しました。お弁当を用意して、会場で食べても持ち帰ってもいいという形で実施しました。新しい方からもたくさん申込みがあり、138食分のお弁当が全て無くなりました。

お米は5キロを6世帯に配布しました。お困りの家庭の方が向こうから声をかけてくれます。

シングルマザーの寮の様などところからの要望も多いですが、8人お子さんがおられる家庭など、お米が高くて麺類ばかり食べているという家庭からとても喜ばれました。

ご支援本当にありがとうございます。

⑯現在、継続して支援している「ひとり親等家族」は3家族。9月度はお米5kgと食品の支援を行いました。

食品の高騰の中で、育ち盛り、特に男の子がいる家庭ではお米の支援は大変喜ばれました。

特に、4年ほど支援を行っている家庭は、中学生と小学生の男子がおり、お米を見たときの小学生児童のキラキラした目がとても印象的でした。



